「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

棟朝 雅晴^{1,a)}

論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」では、数理モデル化と問題解決 (MPS) 研究会においてご講演を頂き、その場での議論もふまえつつ、研究会と同時開催の編集委員会で審議のうえ、査読結果をお伝えしています。

今年度後半の研究会については、2019年9月にMPS125を札幌市内で開催し、12月にMPS126を電気通信大学で、2020年2月末にMPS127を鳥根県にて開催します。来年度においては、6月に沖縄で、7月にラスベガスでの開催を予定しております。

詳細は研究会のHPに掲載しておりますので、ぜひ、多数のご参加ならびにご投稿をお待ちしています。

今号では、2019年12月までに採録と判定されたオリジナル論文3編を収録しています。担当編集委員は、北 栄輔、花田良子、阿部 昇 (敬称略) となっています。

TOMに掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOMでは編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべてWWWページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS研究会および論文誌TOMに関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 北海道大学
Hokkaido University, Sapporo, Hokkaido 060-0811, Japan

^{a)} munetomo@iic.hokudai.ac.jp